

令和6年度第2回図書館協議会議事録

日時：令和6年10月7日 15:00～15:45

出席者：

（委員長）長谷川小百合

（委員）新保英穂、渡邊智子、飛田野應子、高沢芳子

（図書館司書）神田純子、曾我由香里

教育長 小泉明美

（事務局）生涯学習課長 塚野敏之、図書館係長 岩城美千代、主事 田中愛香音

（傍聴者）1人

議題：

・第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画（案）に関するパブリックコメントについて

○生涯学習課長

本日は大変お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

全員揃いましたのでこれより図書館協議会を始めさせていただきます。

なおA委員それからB委員、C委員より、本日の会議を欠席する旨の連絡をいただいておりますので、お知らせいたします。

初めにお願い事がございます。議事録作成のためこの会議を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。また機械により議事録を自動作成されますので、発言につきましては相互に重ならないようお願いいたします。

この会議は、阿賀野市審議会等の会議の公表に関する要綱第2条に該当する協議会となり、公表いたします。公表の方法は、傍聴による公開といたしますが、現在傍聴者の方はお1人でございます。また議事録につきましても、これにより公開させていただきます。阿賀野市のホームページ等で掲載させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは教育長からご挨拶をお願いいたします。

○教育長

本日はご多用の中、そして足元の悪い中、第2回阿賀野市立図書館協議会にご参集くださり誠にありがとうございます。

すっかり秋めいて参りまして、今日は少し肌寒いような感じもしております。

阿賀野市の子どもたちは9月、幼稚園の運動会、中学校の体育祭、小学生は陸上競技会等で体を鍛えて参りました。

それが終わりましたからは、絵画や工作の制作、合唱の練習、読書旬間に向けての取り組みと文化的な活動が充実しているところでございます。

本日の協議会は第1回目の協議会でいただきましたご意見を反映し、パブリックコメントもいたし、ブラッシュアップしたものを皆様に再度お諮りするものでございます。前回との変更点を中心に説明させていただくことになると思いますが、本計画をよりよい最終形へと作り上げていただけますよう、活発なご意見を本日もちょうだいしたいと思います。お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○生涯学習課長

ありがとうございました。それでは議題に入る前に、今年度より協議会委員としてお願いしておりましたD委員に出席いただいておりますので、初めての協議会となります。D委員より、自己紹介をお願いしたいと思います。

(D委員 挨拶)

○生涯学習課長

ありがとうございました。それでは阿賀野市立図書館協議会規則第二条第3項の規定に基づきまして、委員長に議長をお願いしまして議事の進行につきましても合わせてお願いしたいと思います。それではこの後の進行どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長

それでは会議次第に基づきまして、議題に移ります。

議題を事務局から説明をお願いします。

○事務局

(第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画(案)に関するパブリックコメントについて 説明)

○委員長

皆さん何かご意見ございましたらお願いいたします。

意見がないようですので、事務局からの提言の通り、パブリックコメントの回答

を公表するよう、事務局の方から進めていただきたいと思います。

せっかくの機会ですので、委員の皆さんからまた一言ずついただけたらなと思います。パブリックコメントに関してでもいいですし、せっかくの機会なのでお願いできますか。

皆さん短い時間で、意見がまとまらないと思いますので、事務局から先にお願いできますか。

○事務局

皆様から昨年度より第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画の策定にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

パブリックコメント等の意見で内容が稚拙な面があるのではというようなご指摘もありましたが、私どもの計画といたしましては、多くの方々にわかりやすく提示したいというところがございますので、表記の面では少し物足りないようなところがあるかと思いますが、より多くの方に見てもらいたいというところがございますので、このような形となりました。よろしくお願いいたします。

では、第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画と関係ない意見でも結構でございます。図書館の運営に関して何かご意見等あるようであれば、ぜひ伺いしたいと思います。いかがでしょうか

○委員長

いかがですか。感想でもよろしいのですが、何かその感想から糸口になって、今更ですが案ではないんですけども、何かあればと思いますので、一言お願いできますか。

○事務局

この計画を踏まえまして、図書館の運営、学校の運営とか、あとは家庭、幼稚園等でこの計画の基本方針をもとに、読書活動の推進を進めていただきたいと思います。それに伴いましてまた何か新たな方策とあるようであれば、いつでもご意見伺いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○委員長

E 委員、パブリックコメントに対してじゃなくてもよろしいので何か一言いただけますか。

○E 委員

全くこの話の中とは違うのかもしれませんが、水原中学校市民図書室にお邪魔させてもらって本を探しに行ったときに、そこで勉強している子どもたちが何人かいていいなと思って拝見いたしました。その図書館の雰囲気もそうですし、それから調べたいことがあれば調べられるという環境の中で、利用されない施設ではなくて、みんなに利用される施設なんていいなと感じました。

○委員長

ありがとうございました。それでは D 委員お願いします。

○D 委員

今年度、参観日に保護者向けの読み聞かせと保護者向けの講話を計画をして図書館の司書の皆さんにお願いしています。その講話の後、保護者の気持ちがどのように動くかなというのが、今ちょっと楽しみなところで、アンケートをいただいたりしようと思っています。1 度一歩足を踏み入れて、子どもたちと絵本を探して一緒に見たりすれば、また来ようねっていう道筋にもなるんじゃないかなと思います。あんまり利用されていない、利用の仕方もよくわからないという保護者もいらっしゃると思うので、そういう機会になったらいいかなと思っていますところ。

園では 3 歳以上児の子どもたちが毎週絵本を 1 冊ずつ自分で選んで、借りていくと必ず家の人が読んでくださっています。母とか父とか書いて絵本カードが返ってきていますので、借りていったら家では読まれてはいるかなと思っていますが、それがさらに広がっていったらいいかなと期待しているところです。

○委員長

ありがとうございました。そうなるといいですね。多分保育園児のうちはまだ時間にゆとりがありますが、だんだん大きくなると、子どもたちもいろんな活動が増えてきて、なおさら図書館離れとか読書離れが進んでいるのかなと個人的に思っています。

こういう活動やこういう計画が読書離れとか図書館離れから、少しでもいい方向に向うように作成されているとは思いますが、うまくいくといいなと今の話を聞いて思いました。ありがとうございました。

教育長いかがですか。

○教育長

本当に私は事務局の方々が、国の動向、そして市民のアンケート調査で希望などを幅広く聴取して素晴らしいものを作り上げてくださったなと思って、とても感謝しています。

一昨年まで小学校の教員をしていたものですから、司書の方の読み聞かせを本当に低学年から高学年までみんなで楽しみにしていて、読書の世界、本の世界に引き込まれていました。そのところにわらべうたがあったり手遊びとかあったりしますので、小学校の教員も読み聞かせであったりわらべうた手遊びみたいな技能を習得する研修会があると、教えてもらったことを日々の子どもたちに還元できていいのかなと思ったことがありました。

保護者向けにまた研修会してくださるというので、もしどこかで可能なようならば、小学校の教諭向けにもお力を貸していただけたらありがたいです。

○委員長

ありがとうございました。F 委員いかがですか。

○F 委員

少し前に読書量がすごく減っていると新聞に出ていました。すごく急激に減ったみたいですね。私は一応高齢者ですけども、私たちの時代はラジオを楽しんで、次がテレビを楽しんで、新聞はもう生まれたときから今までずっと読んでいましたけど、うちの孫たちを見ると、テレビはつけないし、新聞はもちろんなし、情報は携帯だけです。今、曾孫がいますが、曾孫には絵本は読んであげますけど、親が与えた本しかわからない、経験ないわけですよ。私は新聞の広告や日曜日の本の紹介の欄を見て育った時代だから、活字が非常に好きですけど、今の子どもたちは、活字離れっていうよりも、活字を情報として自分の中に取り込むという習慣ができていないのかなと感じます。テレビなし新聞なしで、親は携帯で情報を得ていると雑多な情報は、何から得るのかなと思いました。ラジオはもちろん聞きません。だから家庭環境ががらっと変わってきたから、なおさら読書をして活字を見るとというのが大切だと思いますけど、なかなか難しいと思います。親世代から教育しなくちゃいけないってなってしまう。

○事務局

特にもう今親世代がスマホです。スマホの情報というのは、すぐに何も考えずに載せてしまうものが多いですが、新聞はきちんと精査し根拠を明確にした上で文章化されています。新聞の方が、信頼のおける情報であるわけです。そういった意味でも活字になったもの、新聞などを読む方が良いとは思いますが、本当に活字離れが急激に進んでいるというのは私どもも感じているところであります。

○F 委員

動画を見て音で聞くというのは簡単ですけども、テレビも見ないのですよ。必要ないなんて言うんです。びっくりしてしまいました。

おばあちゃん時代遅れだって言うけれど、あなた達が時代遅れによって思います。私たちは新聞やテレビ、広告、皆見ますから。

○委員長

なかなか時代の変化についていくのが大変な時代になりました。では、G 委員いかがですか。

○OG 委員

私は子育て支援のボランティアの立場でお話ししますが、私たちスタッフも図書館の方からわらべうたとかを教えてもらいました。とてもいいのですが、教えてもらった時はわかって、日にちをおくとわからなくなってしまう。

なかなか私たちも意識してやらないと自分のものにはならないので、この度ボランティアの会で譜面のついたわらべうたの本を買って、やりやすいのだけを抜粋し、それをもとに 11 月に研究会をしようという計画を立てています。私たちが誰かに教えてもらっても、ものになっていないと子どもたちにしてあげられないので、スタッフの取り組み意識が大事だなと思っています。私たちも、心して子どもたちに伝えるようにしていかないと、駄目だなというふうに感じています。

あとこの市の計画とは違うかもしれませんが、木曜日の夜 10 時から BS で「あの本、読みました？」という番組があります。大人向けですが、今話題の本とか、その本の作者が実際に出てきて自分が書いた本の解説をしたり、その本の帯に対するいろんな工夫とか本を作成する側の話をする番組です。こういうふうに紹介されるとすごく読みたいと思うので、いい番組だなと思って見ていました。それが子ども向けにというのはちょっと難しいでしょうけど。

○委員長

先生方がその番組のようにご自分なりに本を紹介していただけたときって子どもたちも興味持って本を手にとってみるかもしれません、そういったことにつながると、本当に素晴らしいと思います。

○OG 委員

なんで本が読めなくなったかという本があります。仕事で疲れて勉強で疲れて部活で疲れたって言っても、SNS を見る時間があるのですよ。だから本を読む時間がないのではなくて、つくれないと、そんなことを作者が言っていました。

○委員長

何でもそうですよね。時間がないのではなくて、やろうとしない、読もうとしない、まず行き着くところはそういうところなのかなと思います。

ありがとうございました。

私も一言、雑談なのですが、この間小学校の評議会がありまして、子どもたちの学力調査で、数学で頭の中で図形を考えられない子が多いという結果を聞きました。というのはやっぱりスマホとかで、目で刺激は受けているのだけど、活字を読んで想像する力が欠如しているのだなと思い話を聞いていました。だから結局勉強でもそうですが、目とか耳の刺激は今の子どもたちはすごい受けているのだけど、活字で自分の頭の中で想像することができないから、それを勉強には生かせてないのかなと。図形や立体的なものを頭の中で動かすという、図形の勉強がうまくいってないということを先生がおっしゃっていたので、ぜひ学校や保育園の方でも本を読むとこういういいことがあるよということを親御さんに進めていけば本を手にするようになるのかなと思います。このままでは想像力に欠ける子が本当に多くなるのかなと思い話を聞いてきました。それでは事務局の方からお願いいたします。

○生涯学習課長

大変ありがとうございました。それでは事務局の方から連絡等させていただきたいと思います。

○事務局

昨年度から皆様より協議いただきました第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画は、パブリックコメント意見と市の考え方として先ほどの結果を公表し、教育委員会を経て策定となります。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。製本いたしました第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画を改めて皆様に郵送させていただきます。

また、第10期図書館協議会委員の任期が10月末までとなっております、この度、A委員、B委員、C委員、D委員、F委員が改選勇退ということになります。本日、A委員、B委員、C委員の3名は欠席でございますが、D委員、F委員より、最後に一言いただきたいと思います。ではD委員お願いいたします。

○D委員

今回1回だけの参加になってしまって大変申し訳なかったのですが、本当に読書活動のこれからが子どもたちも含め、すごく読み取る力、人の気持ちを探る力いろんなものに繋がっていくのではないかなと改めて思いました。

園の方でも私自身も子どもたちと読み聞かせ、絵本の世界を楽しみながら読書活動が子どもたちの中に根づいていくように努力していきたいなと思っております。ありがとうございました。

○事務局

それではF委員お願いいたします。

○F委員

最初はこんな難しい協議会と思いました。しかし、難しい題材であったり、難しい内容であっても読書を推進したり、実生活の中で子どもに本を読んであげたり、私自身が読んだり、友人とか子どもたちに、この本こんな面白いよ、これの間テレビに放送してたけどもこの本がもとだよという話を、ちょっと深くできるようになりました。やっぱり活字で自分が見て想像して話すっていうのは、さっきおっしゃったように頭がすごく活性化するんじゃないかと思います。今の子どもたちはどうなんだろうと感ずるときがよくあります。うちの孫も、職場に行っても、飲み会などアフターファイブは全然で、すぐうちに帰ってくるそうです。何が楽しみなのっていうくらい。何か味気ない感じします。今の大人、青年たちはそうなのかもしれませんね。

○事務局

ありがとうございました。お2人には引き続き図書館行政にご協力いただけましたら幸いです。

次回会議日程につきまして、年度末のお忙しい時期に申し訳ございませんが、令和7年3月開催ということをお願いしたいと思います。具体的な日程につきましては、追って事務局からお知らせいたします。

ご面倒おかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

○生涯学習課長

はい。ありがとうございました。

この協議会の中で特に昨年度から第二次阿賀野市子ども読書活動推進計画の策定に皆様からいろいろとご意見をいただきました。この第10期の委員の皆様については、本当にそれが大きな案件であったのかなというふうに思っております。この10月末で第10期が終了ということで、次回の令和7年3月の開催にはまたメンバー変わっていると思いますけれども、そういった中、この10期で、計画の形ができて上がったということで、本当にご苦労いただきまして誠にありがとうございました。

た。今後、これをもとにまた次の段取りに進んでいきたいと思っておりますので、見守っていただければと思います。また今後につきましてもぜひご協力いただきますようよろしくお願いいたしますと思います。

それでは、これをもちまして令和6年度第2回阿賀野市立図書館協議会、こちらの方を閉会といたします。本日は誠にありがとうございました。